生涯学習

公共施設の配置について

Q

次の点について伺う。

1　公共施設の目的と役割について

2　利用者が少なく、稼働率の悪い、老朽化施設の取り壊しを含めた利用について

3　仙石原文化センターの収容人員等の見直しと改修について

4　レイクアリーナの総合スポーツセンターの見直しとして、体育館・グラウンドの旧仙石原中学校への移設について

A

1点目について、町の公共施設は、住民福祉の向上を図ることを目的に設置している。

・健康づくりの推進や保健福祉活動の振興など
→さくら館・やまなみ荘
・町民の方々の教養の向上、生活文化の振興
→文化センター・社会教育センター
・心身の健全な発達とスポーツ振興
→レイクアリーナ・地域スポーツ施設・テニスコートがあり、観光客の誘客施設としての役割も持っている。

2点目について、利用者が多くない、稼働率が高くない、老朽化している施設もあるが、各施設とも町民や観光客誘客のため重要な施設であると考えており、それぞれの設置目的や役割を十分果たせるよう運営、利用方法を検討していく。

公共施設の適正配置については、庁内組織の「公共施設配置研究会」において、各公共施設、学校跡施設、出張所などもあわせ、活用方法、取り壊し、統廃合などさまざまな角度から検討し、今後も適正な施設運営を進めていく。

3点目について、同センターの収容人数は720名であり、現在それを超える催し物等は、レイクアリーナを案内している。施設の改修、増改築については、建設時に国庫補助金を得た経緯があるため、補助金交付要項等に照らす必要性、さらに収容人員をふやす改修になると、耐震上の関係等から根本的な設計と多額の費用が必要となる。それを補える施設がある以上、レイクアリーナを活用していくことが妥当だと考える。同センターは公民館要素を備えた施設のため、社会教育法などの制約があるが、町内唯一の文化施設でもあるため、利用者の希望や施設の積極的な活用に向けた方策を検討していく。

4点目について、同施設建設の経緯は、町内外からの要望等や国体剣道競技の可能な施設などの目的から建設され、開館以来、町内行事や各イベント会場、学校等の合宿時利用などの固定化や観光客等の休憩場所として好評を得ている。

また、旧仙石原中学校のスポーツ施設は、町内外問わず多くの方が利用しており、現在はレイクアリーナの移設は考えていない。

「レイクアリーナ箱根」の名称は定着しており、利便性の難はあるものの、周辺地区の宿泊客増への波及効果も大きく、今後も広くPRし、地域スポーツ施設においても、多目的に活用できる対策を考えていく。

視察来町

―静岡県御殿場市議会―

視察日　平成21年12月21日
来町者　福祉文教委員会8名　事務局　2名
目　的　認定こども園について（仙石原幼児学園の運営状況と施設概要）

御殿場市は、保育園9園、幼稚園8園を運営していますが、少子化の進行が顕著になってきており、今後の幼児教育・保育の参考とするため、当町の運営実態や施設の設置状況について視察に訪れたものです。

【主な視察内容】
・設立にあたっての課題
・小学校（区）との連携
・延長保育の状況
・利用者の反応
・幼保の職員の身分と勤務体制の違い
・設立当初の目標達成度

―静岡県南伊豆町議会―

視察日　平成22年1月20日
来町者　議長以下全議員11名　事務局　2名
目　的　認定こども園について（仙石原・湯本幼児学園）

南伊豆町では、平成23年4月を目標に認定こども園（幼保連携型）の設置について、具体的な取り組みを始めており、当町の運営実態や施設の設置状況について視察に訪れたものです。

南伊豆町議会

―茨城県鉾田市議会―

視察日　平成22年1月26日
来町者　厚生文教常任委員会9名　事務局　2名
目　的　小中学校統廃合について

鉾田市は、幼稚園4園、中学校4校、小学校20校を運営していますが、小学校について、学級編成替えが可能な計画づくりが急務とされており、当町の運営実態や施設の設置状況について視察に訪れたものです。

鉾田市議会